

【創世記第25章】

「イサクは自分の妻のために主に祈願した。～主は彼の祈りに答えられた。～彼女は、「こんなことでは、いったいどうなるのでしょうか。私は」と言った。そして**主のみこころを求めに行った。**」(25 : 21、22)

先週はイサクの花嫁さがしの美しいお話でした。父アブラハムは175才で平安に長寿を全うして息絶え、妻のサラと共にエフロンから買い取った墓地に葬られました。アブラハムの死後、神はその子イサクを祝福されました。40才で美しいリベカを花嫁として迎えましたが、妻は不妊の女でした。アブラハムは神の祝福を待つことが出来ず、サラの申し出によって女奴隷との間に子をもうけましたが、イサクは違いました。しかし、20年間も子供が与えられなかったというのはどんなに辛かったでしょう。神の言葉を受け取るために忍耐し、祈る必要がありました。(21節) 受けた神のことばをただ待っていれば自然になるというのではなく神の栄光が表れるまで祈りましょう。(勿論自然になるという事もあるかもしれませんが、そんな場合でも、どこかで誰かが祈っているのではないのでしょうか。)

神様はその祈りを聞かれて、60才にして双子が生まれました。子供たちは腹の中でぶつかり合い、リベカは「こんなことでは、一体どうなるのでしょうか。」と悩んでいます。そしてリベカは主に問うています。私たちの人生に起こることには意味がありますから、神様に祈り、み心を聞くという事が大切です。「二つの国があなたの胎内にあり、二つの国民があなたから分かれ出る。一つの国民は他の国民より強く、兄が弟に仕える。」そして最初にエサウが生まれ、その後でヤコブはエサウのかかとを掴んで生れてきました。この子らが成長して、エサウは巧みな猟師となり、野の人となり、ヤコブは穏やかな人となって天幕に住んでいました。イサクはエサウを愛しましたが、リベカはヤコブを愛したのは、彼女がヤコブに対しての神様の御心を知っていたからかもしれません。エサウは猟から帰ってきた時、お腹が空いていたのでヤコブの料理している赤い煮物を欲しがりました。ヤコブは長子の特権と引きかえにその煮豆をエサウに与えています。このようにしてエサウは長子の特権を軽蔑したのです。

ここに長子の特権と何度も書いてありますが、私たちの教会は「天に登録されている長子たちの教会」です。長子の特権は申命記21 : 17にある様に2倍の祝福と、アブラハムに約束された祝福です。ガラテヤ3:14~16「このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、～約束は、アブラハムとそのひとりの子孫に告げられました。～その方はキリストです。」すなわち人類の救いの計画であり、これは永遠に至る祝福です。ここに選ばれている私達はこの特権を無視したり、軽蔑しないようにしましょう。何よりも優先すべき大切なものです。

「また、不品行の者や、一杯の食物と引き替えに自分のものであった長子の権利を売ったエサウのような俗悪な者がないようにしなさい。」(ヘブル12 : 16) 「自分の肉のために時く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために時く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。」(ガラテヤ6 : 8) 「わたしは、わたしを尊ぶ者を尊ぶ。わたしをさげすむ者は軽んじられる。」(1サムエル2 : 30)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会
Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven
主任牧師：イエス・キリスト
牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.11.16 No.815

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、
主のみわざを見るであろう。
わたしがあなたとともに行うことは
恐るべきものである。

出エジプト記 34 : 10



風のひびき第2集 歌集とCD

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)
The Lord's Cross Christian Center
<http://astone-blog.jp/tlcccrh/>

